

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2020-133076

(P2020-133076A)

(43) 公開日 令和2年8月31日(2020.8.31)

(51) Int.Cl.	F 1	テーマコード (参考)
A 4 1 B 11/00 (2006.01)	A 4 1 B 11/00 A	3 B 0 1 8
A 4 1 B 11/14 (2006.01)	A 4 1 B 11/14 E	4 F 1 0 0
D 0 4 B 1/00 (2006.01)	D 0 4 B 1/00 A	4 L 0 0 2
D 0 4 B 21/00 (2006.01)	D 0 4 B 21/00 A	
B 3 2 B 5/26 (2006.01)	B 3 2 B 5/26	
審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 6 頁) 最終頁に続く		

(21) 出願番号 特願2019-31520 (P2019-31520)
 (22) 出願日 平成31年2月25日 (2019.2.25)

(71) 出願人 000001339
 グンゼ株式会社
 京都府綾部市青野町膳所 1 番地
 (74) 代理人 100120341
 弁理士 安田 幹雄
 (72) 発明者 平島 享子
 大阪府大阪市北区梅田2丁目5-25 ハービス O S A K A オフィスタワー グンゼ株式会社内
 (72) 発明者 川原崎 真悟
 大阪府大阪市北区梅田2丁目5-25 ハービス O S A K A オフィスタワー グンゼ株式会社内
 Fターム(参考) 3B018 AA03 AB02 AC04 AD11

最終頁に続く

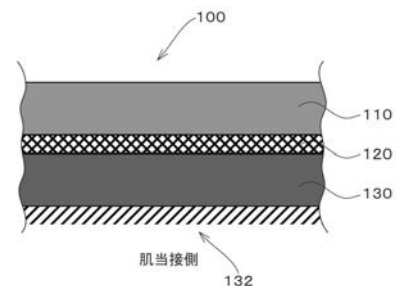
(54) 【発明の名称】 下半身用衣類

(57) 【要約】

【課題】多層構造の編地を用いた暖かく履き心地の良いレギンスを提供する。

【解決手段】このレギンスを構成する編地100は、多層構造の編地である。この多層構造の編地100は、第1層としてツイルニット編地110、第3層としてニット編地130、第1層のツイルニット編地110における第3層側の面に形成されたアルミプリント120による第2層とを少なくとも含む。肌当接側である第3層のニット編地130を毛羽立たせる加工を施したことを特徴とする。ここで、第2層については、第1層のツイルニット編地110における第3層側の面および第3層のニット編地130における第1層側の面の少なくともいずれかの面にアルミプリントにより形成されていれば構わない。

【選択図】 図2



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

多層構造の編地を用いた下半身用衣類であって、
前記多層構造の編地は、
ツイルニットにより形成された第 1 層と、
編地により形成された第 3 層と、
前記第 1 層の編地における前記第 3 層側の面および前記第 3 層の編地における前記第 1 層側の面の少なくともいずれかの面に形成されたアルミプリントによる第 2 層と、を少なくとも含む、

肌当接側である第 3 層の編地を毛羽立たせる加工を施したことを特徴とする下半身用衣類。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、主として女性用の下半身用衣類に関し、特に、丈が膝下から足首まででアウターウェア用途として着用されるレギンスに代表される下半身用衣類であって多層構造の編地を用いた暖かく履き心地の良い下半身用衣類に関する。なお、本発明に係る下半身用衣類は、その形状（たとえば丈）は限定されるものではなく、さらに限定されるものではないが主として冬季のアウターウェア用途として好適に着用される、一例としてスパッツ、レギンスおよびトレンカ（トレンカはスパッツおよびレギンスに対して土踏まずの部分に引っ掛ける部分を持つことが差異）等が挙げられる下半身用衣類である。

20

【背景技術】

【0002】

タイツは専ら冬季に着用され、保温性を重視したものとなっており、タイツにはアクリルのバルキー糸 100% のもの、カバリング糸とナイロンフィラメント加工糸との交編タイプのもの、または、カバリング糸 100% のいわゆるゾッキタイプのものがあり、形状としてはパンティーストッキング型のものやレッグ部のみのものがある。

このようなタイツに用いられるカバリング糸としては、ポリウレタン弾性糸を芯糸としてナイロンフィラメント加工糸を 1 重に被覆した S C Y（シングル・カバード・ヤーン）または 2 重に被覆した D C Y（ダブル・カバード・ヤーン）ものが、主に用いられている。

30

【0003】

このように、芯糸をポリウレタン弾性糸として捲糸をナイロンフィラメント加工糸としたカバリング糸が、ストッキングやタイツ等の下半身用衣類の編み糸として広く用いられている。本願出願人が開発して出願した、カバリング糸を用いて着用したときの肌触りが良好なゾッキ編みタイツが、特開 2013-185266 号公報（特許文献 1）に開示されている。この特許文献 1 に開示されたゾッキタイツは、ポリウレタン弾性糸の芯糸に捲糸を巻着させたカバリング糸を用いてゾッキ編みしたタイツであって、前記捲糸を天然繊維（綿糸）として、前記タイツの肌密着側の編地を毛羽立たせる加工を施したことを特徴とする。

40

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献 1】特開 2013-185266 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

上述した特許文献 1 に開示されたゾッキタイツは、着用したときの肌触りが良好な点で好評を得ているのであるが、タイツはインナーウェアであるためにアウターウェア（スカートやアウターウェアとしてのパンツ）をさらに着用して外出しなければならなかった。

50

このため、タイツにたとえばパンツを重ね履きしなければならないことになる。さらに、このパンツとして（ストレッチ性がない通常の）ジーンズを着用すると、編地のタイツは伸縮性が高くよく伸びるもののジーンズはストレッチ性が好ましくなくこのような組み合わせで重ね履きすると、ストレッチ性が悪く履き心地が良くない。

【0006】

本発明は、従来技術の上述の問題点に鑑みて開発されたものであり、その目的とするところは、アウターウェアとして着用できる多層構造の編地を用いた暖かく履き心地の良い下半身用衣類を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記目的を達成するため、本発明の下半身用衣類は以下の技術的手段を講じている。
すなわち、本発明の下半身用衣類は、多層構造の編地を用いた下半身用衣類であって、前記多層構造の編地は、ツイルニットにより形成された第1層と、編地により形成された第3層と、前記第1層の編地における前記第3層側の面および前記第3層の編地における前記第1層側の面の少なくともいずれかの面に形成されたアルミプリントによる第2層と、を少なくとも含み、肌当接側である第3層の編地を毛羽立たせる加工を施したことを特徴とする。

【発明の効果】

【0008】

本発明によれば、アウターウェアとして着用できる多層構造の編地を用いた暖かく履き心地の良い下半身用衣類を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】本発明の実施の形態に係るレギンスの概略正面図である。

【図2】図1のレギンスの構造を説明するためのレギンスの編地についての模式的な断面図である。

【発明を実施するための形態】

【0010】

以下、本発明の実施の形態に係るレギンス1を、図面に基づき詳しく説明する。このレギンス1は、多層構造の編地を用いた暖かく履き心地の良い下半身用衣類の一例として説明されるものである。本発明に係る下半身用衣類は、その形状（たとえば丈）は限定されるものではなく、女性用にも男性用にも限定されるものではなく、アウターウェアにもインナーウェアにも限定されるものではないが、このレギンス1のように、代表的には、丈が膝下から足首までの間で（このレギンス1は丈が足首まで）女性用のアウターウェア用途として着用される下半身用衣類である。

【0011】

図1を参照して、丈が足首までで冬季のアウターウェア用途として着用されるパンツタイプの下半身用衣類の一例であるレギンス1は、図2にその模式的な断面図を示す多層構造の編地100を用いている。このレギンス1は、胴部2（1本の筒状部）と脚を挿入する2本の脚部3とが構成されるように多層構造の編地100を縫製して、胴部3の上端にウエスト部4としてウエストバンドを挟んで縫着した構造を備える。なお、ウエスト部4にウエストバンドを設けない総ゴム仕様（総ニット仕様）として、ウエストを締め付けないようにすることも好ましい。また、このレギンス1はしゃがんでも下着等が見えないように股上が深めの形状を備える。

【0012】

なお、本発明に係る下半身用衣類の一例として説明するレギンスの構造には様々なものがあり、本発明に係る下半身用衣類がレギンスであるとしても特定の構造に限定されるものではなく、後述する特徴である、多層構造の編地を用いた暖かく柔らかく好ましい履き心地を備えたものであれば、どのようなレギンスの構造であっても、レギンスを構成する編地の種類、編糸の種類はどのようなものであっても、基本的には構わない。そのため、

10

20

30

40

50

上述したレギンス１の構造自体は単なる例示でしかない。また、このように限定されないレギンスでさえ、上述したように、本発明に係る下半身用衣類の一例でしかない。

【００１３】

本実施の形態に係るレギンス１を構成する編地１００について、編地１００についての模式的な断面図である図２を参照して以下において詳しく説明する。

この図２に示すように、このレギンス１を構成する編地１００は、多層構造の編地である。この多層構造の編地１００は、第１層としてツイルニット編地１１０、第３層としてニット編地１３０、第１層のツイルニット編地１１０における第３層側の面に形成されたアルミプリント１２０による第２層とを少なくとも含む。そして、肌当接側である第３層のニット編地１３０を毛羽立たせる加工を施したことを特徴とする。ここで、第２層については、第１層のツイルニット編地１１０における第３層側の面および第３層のニット編地１３０における第１層側の面の少なくともいずれかの面にアルミプリントにより形成されていれば構わない。

10

【００１４】

このような多層（ここでは３層）構造の編地の製造方法については特に限定されるものではなく、たとえば第１層を編機で編成した後に後加工機により第２層を形成するようにして２層編地を製造して、その２層構造の編地に第３層のニット編地を貼り付け加工（ボンディング加工）すること等が考えられる。さらに、肌当接側である第３層目のニット編地１３０を短く毛羽立たせる（微）起毛加工を施しており、多数の短い毛羽１３２を備えた柔らかい（ソフトな）肌触りを備えることを特徴とする。

20

【００１５】

このように、このレギンス１を構成する編地１００は、

- ・表生地を構成する第１層としてツイルニット編地１１０を採用しているために、ニット素材でありながら布帛のようなしっかりした風合いと綾目とを実現しておりアウトウェアとして好適で、かつ、ニット素材であるために本質的に伸縮性（ストレッチ性）が好ましく、
- ・中間層である第２層としてアルミプリント１２０を備えるために、魔法瓶のように断熱性が高く暖かく、
- ・裏生地を構成する第３層として肌当接側が（微）起毛されたニット編地１３０を採用しているために、肌に柔らかく当接して履き心地が好ましく、かつ、ニット素材であるために本質的に伸縮性（ストレッチ性）が好ましい。

30

【００１６】

その結果、アウトウェアとして着用できる多層構造の編地を用いた暖かく履き心地の良い下半身用衣類の一例であるレギンス１を実現することができる。

なお、第３層として肌当接側を短く毛羽立たせるように表面加工方法の例として起毛加工を例示した。この起毛加工は、起毛機等を用いてレギンス１の第３層のニット編地１３０の肌当接側の編地表面を短く毛羽立たせる。レギンス１の肌当接側のニット編地１３０の表面（肌当接面）の柔らかく、かつ、暖かい肌触りとするための加工であれば、本発明は起毛加工に限定されるものではない。

【００１７】

以上のようにして、本実施の形態に係るレギンスによると、表生地を構成する第１層としてツイルニット編地１１０を採用し、中間層である第２層としてアルミプリント１２０を備え、裏生地を構成する第３層として肌当接側が（微）起毛されたニット編地１３０を採用しているために、肌に柔らかく当接して履き心地が好ましく、かつ、全体してニット素材であるために伸縮性（ストレッチ性）が高く履き心地が好ましく、かつ、大変暖かい、多層構造の編地を用いた暖かく履き心地の良いレギンスを提供することができる。ここで、このレギンス１が全体してニット素材であるために伸縮性（ストレッチ性）が高いとは、このレギンス１の全体を形成する第１層のツイルニット編地１１０も第３層のニット編地１３０も編地であり本質的にストレッチ性が高く、第２層のアルミプリント１２０はこれらの編地のストレッチ性を阻害するほどに厚くないために、このレギンス１が全体し

40

50

てニット素材であるためにストレッチ性が高いことを意味する。

【0018】

なお、今回開示された実施の形態はすべての点で例示であって制限的なものではないと考えられるべきである。本発明の範囲は上記した説明ではなくて特許請求の範囲によって示され、特許請求の範囲と均等の意味および範囲内でのすべての変更が含まれることが意図される。

【産業上の利用可能性】

【0019】

本発明は、下半身用衣類に好適であり、多層構造の編地を用いた暖かく履き心地の良い下半身用衣類に特に好適である。

【符号の説明】

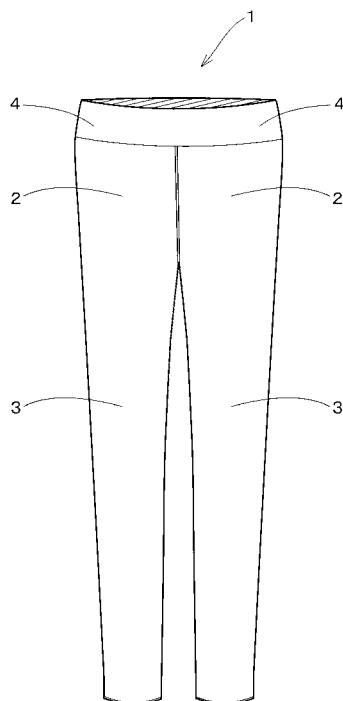
【0020】

- 1 レギンス
- 2 胴部
- 3 脚部
- 4 ウエスト部
- 100 編地（3層編地）
- 110 ツイルニット編地（第1層）
- 120 アルミプリント（第2層）
- 130 ニット編地（第3層）
- 132 毛羽

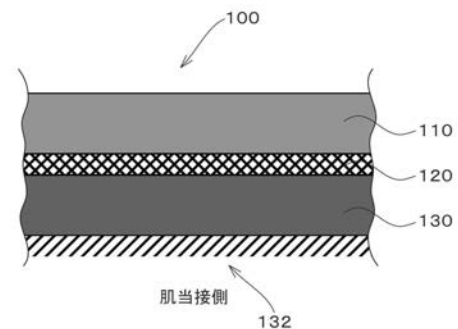
10

20

【図1】



【図2】



フロントページの続き

(51)Int.Cl. F I テーマコード (参考)
B 3 2 B 15/14 (2006.01) B 3 2 B 15/14

F ターム(参考) 4F100 AB10C BA03 BA10A BA10C DG13A DG13B DG16B GB72 HB31C JJ10
4L002 BA00 CA00 DA02 EA00 EA06 FA02